

大阪市会市政報告

vol.04

発行日:
平成31年(2019年)3月00日

【編集・発行】大阪市議員 荒木はじめ 〒534-0021 大阪市都島区都島本通3-27-9 ミカミビル1F TEL:06-6978-4056

市民目線の市政改革を推進します

大阪市議員 元都島区長

あらき

荒木 はじめ

自民党・市民クラブ 市会議員団 政調会長
民生保健委員会委員・市政改革特別委員会委員



都島区に住んで35年

- 住んでいるからわかることがあります
- 大切だから守りたいものがあります
- 大好きだからやりたいことがあります

大阪市を廃止・分割する「都構想」には反対です



「大阪都構想」は、平成27年5月17日に32億円もの税金を費やし実施された住民投票で、市民の民意は示されています。平成29年6月に設置された「法定協議会」は23回開催され、3月7日の法定協議会では、再度会長から住民投票の日程案が提案されましたが否決されました。

大阪市は市民の皆様の時代を見渡す先見性と創造力で築き上げられたまちです。100年以上の歴史と伝統、そして独自の文化を生み出した都市大阪は、近代日本の都市経営のパイオニアです。商都大阪の輝きを取り戻すためにも、大阪市は政令指定都市としての財源と権限を活かして自治を進めるべきです。

法定協議会では、「特別区」を設置するための具体的な制度設計を議論し、特別区設置協定書と取りまとめる。

都島区の予算 282,135千円

- 防災の強化のために 5,020千円
- 防犯・交通安全のために 3,957千円
- 子育て支援のために 3,312千円
- 小学生学習支援のために 7,583千円 など

『大切に大好きな私たちのまち都島』のために 地域の皆様の声に耳を傾け 都島のまちづくりを進めます

- ふれあいのまち都島 健康・福祉・介護に取り組み、おとしより、子どもたちも障がいのあるみなさんも、誰もが笑顔で暮らせるまち
- 安全で安心なまち都島 誰もが安心して暮らせるまち
- 女性が輝くまち都島 女性が輝き笑顔で暮らせるまち
- もうかるまち都島 地元企業の振興を進めます
- 絆の強いまち都島 地域コミュニティを大切にすまち
- 元気なまち都島 都島の持つ特性を活かしたまちづくり
- 教育再生に努めます 大阪の教育の再生を推進

大阪・都島の未来を語れる政策を進めて参ります。



荒木 はじめ

大阪市議員 元都島区長
民生保健委員会委員／市政改革特別委員会委員

プロフィール

- 住所 大阪市都島区友洲町ベルパークに住んで35年
- 生年月日 昭和29年 11月生
- 最終学歴 大阪市立大学 卒業
- 職歴 大阪市職員
市長室等の勤務を経て
第24代都島区長などを務めた
- 経歴 平成27年4月 大阪市議員 当選
平成27年5月 財政総務委員会副委員長
市会運営委員
6月 市政改革特別委員～
平成28年5月 都市経済委員会委員長
平成29年5月 教育こども委員会委員

大阪市の予算(案)

■平成31年度の大阪市の一般会計予算

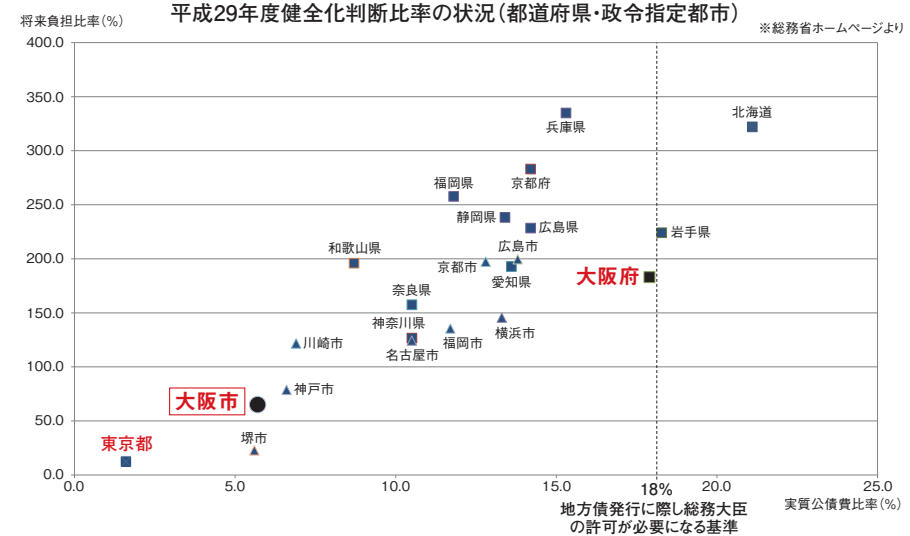
歳出 **1兆8,353億円** 歳入 **1兆8,353億円**

▶歳出の主な内訳
福祉費:5,572億円(30.4%)、こども青少年費:2,131億円(11.6%)、教育費:2,067億円(11.3%) などを。

市税は人口増や企業収益の増により、前年度より323億円の増となっており4年連続の増額となっています。

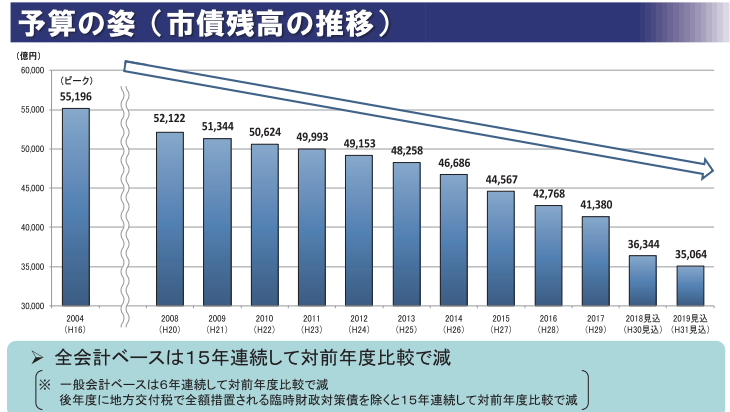
健全化比率

都市の財政状況を比較する指標は様々ですが、代表的な指標で図表化されたものです。左下へ行くほど良好な状況です。大阪市の財政状況は他都市と比べても良好な状況であることが分かります。



市債残高推移

大阪市の市債残高(市の借金)は平成16年の5兆5196億円をピークに、15年連続して前年と比べると減ってきています。これは、平成14年に当時の磯村市長が「財政非常事態宣言」をされ、その後、關市長による市政改革の取り組みの結果です。平成31年度は3兆5064億円まで減ってきました。



「民生保健委員会」質疑

◇ 地域集会施設(老人憩いの家他)について

質問 昨年7月の市政改革特別委員会で質疑した、老人憩いの家を含めた地域集会所の耐震診断の費用と耐震工事の設計費用が、来年度から補助対象とされることになった。それでは解体撤去も補助対象となるのか。

回答 解体撤去費への補助についても検討している。平成32年度にむけ引き続き区長会議で検討する。

◇ 高齢者の見守りについて

質問 ひとり暮らし高齢者に対する取り組みとして「見守りネットワーク強化事業」がある。しかし、地域の方々が自主的に取り組まれている地域の活動は負担が大きい。活動への支援が必要と思うがどうか。

回答 各区に設置されている「見守り相談室」が強化され、平成30年度から職員配置を66名から98名に増員した。都島区としても、活動されている方の負担感の解消や担い手不足解消に取り組むことは勿論、活動されている方たちの悩みや課題をしっかり受け止め、支援していく。



◇ 住吉市民病院跡地の新病院について

質問 病院跡地に建設される、弘済院の認知症機能と介護機能を持つ新病院は、どのような機能を充実させるのか。

回答 弘済院が培ってきた機能(認知症医療・介護機能)を継承し、認知症患者の身体的合併症医療の充実を図る。

◇ 人生会議について

質問 厚生労働省では、万が一のときに備え、本人が望む医療やケアについて周りの人と話し合う「人生会議」の啓発をしているが、大阪市ではどのように取り組むのか。

回答 本人が希望する「生を全う」できるように考える機会とされている「人生会議」を関係団体とも連携しながら市民へ周知したい。

笑顔のあふれるまち都島へ
大阪市議員 荒木はじめ事務所
 〒534-0021 大阪市都島区都島本通3-27-9 ミカミビル1F
 電話 (06)6978-4056 FAX (06)6978-4057

市政相談所
 市政に関することは
 お気軽にご相談ください。